

2023年10月13日

各位

会社名 株式会社ANAP  
代表者名 代表取締役社長 家高 利康  
(コード3189・東証スタンダード)  
問合せ先 専務取締役 管理本部長 竹内 博  
電話番号 03-5772-2717

## 2023年8月期連結業績予想と実績の差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2023年7月14日に公表いたしました2023年8月期（2022年9月1日～2023年8月31日）の連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2022年8月期通期連結業績予想と実績の差異について

##### (1) 連結業績予想と実績の差異

(単位：百万円)

	売上高	営業損失	経常損失	親会社株主に帰属する当期純損失	1株当たり当期純損失
前回発表予想 (A)	4,371	△639	△699	△724	△143円49銭
今回発表実績 (B)	4,216	△740	△801	△1,164	△230円84銭
増減額 (B-A)	△154	△101	△102	△440	—
増減率	△3.5%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 2022年8月期	5,059	△424	△447	△525	△114円74銭

##### (2) 差異の発生理由

前回の修正予想の発表(2023年7月14日)以降、主力事業である店舗販売事業は好調に推移したものの、もう一つの主力事業であるインターネット販売事業の改善が進まず、売上高、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失の全てで前回の修正予想を下回る結果となりました。

特に親会社株主に帰属する当期純損失については、前回予想との乖離が大きくなっておりませんが、その主な要因は、インターネット販売事業が転換期を迎えており、短期的な改善を図る事が困難と判断し、全社の固定資産を減損処理することとしたため特別損失を計上したことによるものです。

#### 2. 特別損失の計上について

当社は、上記「1(2) 差異の発生理由」を主な要因として、継続して営業キャッシュフローがマイナスとなったことから、当社が保有する全社に係る固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討し減損処理を行うことといたしました。その結果、2023年8月期第4四半期連結会計期間（2023年6月1日～2023年8月31日）において減損処理を主要因とした特別損失 356百万円を計上し、2023年8月期通期では、同じく371百万円計上することといたしました。

以上